

平成29年度 揖斐郡教科研究会

英語科 学習指導案

平成29年10月23日(月)

池田町町立池田中学校

学級：2年4組教室(男子20名 女子18名)

場所：2年4組教室

授業者：細江 美香 ALT: Jasmine Evans

1. 単元名 NEW HORIZON English Course

『Unit 5 “Enjoy Universal Design”』 (全10時間)

2. 指導の立場

(1) 題材について

本単元では、ユニバーサルデザインの商品が話題になっている。ユニバーサルデザインの広告を見たディーパが、その条件にあった利点を考えたり、光太が実際にその良さを実感したりする場面から始まる。車いす体験をした咲は、「～時、～だった。」とそれぞれの場面において車イスで生活する大変さを伝え、光太はユニバーサルデザインの商品の大切さについて自分の主張に理由や場合を加えて分かりやすく説明している場面が扱われている。

身の回りの生活の中で、体の不自由な人たちが直面する問題や、誰もが生活しやすい世界の問題を取り上げることで、生徒は自分の意見を持ち、その根拠や理由を加えながら伝えたり書いたりすることができる題材であると考えられる。

そこで、生徒は、Starting Outでは、If～を含む文を使って、「～だったら・・・する(するつもりだ)」という身近に起きる条件を含んだ表現を対話しあう活動、Dialogでは、I think (that)～を使って普段の生活で話題になりやすいことに対して自分の考えを述べ合う活動を行う。また、Read and Think ①では、「車いす体験」に対する咲の感想を読み取ることを通して、「どんなときに、どうするか、どう感じるか」という場面に応じた状況を伝える表現を学び、自分の考えを深める。また、Read and Think ②では、光太がユニバーサルデザインについて紹介し、理由を加えながら自分の考えを分かりやすく伝えている場面を使って、生徒は、光太の発表原稿を理解し、自分の考えに生かせる表現を身につけながら、自分がそう考えた理由や、場面、条件などを加えながら、より詳しく相手と意見交換をしあう活動を行う。こうした系統的な活動により、単に「私は・・・と思う」だけではなく、その理由や場面、条件などを加えながら相手に伝わりやすく、納得してもらえそうな伝え方を学べるとした。

(2) 新出言語材料について

本単元の言語材料は、if節(条件)、I think (that)構文(目的)、接続詞whenとbecauseを用いた文の形・意味・用法を指導する。この表現を正しく使い、生徒は、身の周りに事例について、その場面の説明や、自分の考え、その理由を伝えることができることを理解させたい。そして、このような活動を通して身に付けてきた表現を、単元の終末では、「人の役に立つユニバーサルデザインの商品や建物などについて、自分の考えを伝え合う活動」で定着させていきたい。

(3) 生徒の実態

2年4組の生徒の実態として、各単元や単位時間で学習した表現を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒が多い。ペアやグループ活動でも男女関係なく楽しく活動できる。どの教科でも3人から4人の少人数グループ活動を取り入れることによって、生徒同士が教え合うことが活発になってきた。「分からない」生徒は、「分からない」と伝え、相手の生徒は、ただ答えだけを伝えるだけではなく、その理由や意味などを含めて教えることが少しずつできるようになってきた。その中には、授

業で交流した仲間のよさを認め、素直に取り入れながら、自分の表現をさらに高めようとする姿も多く見られる。

しかし、繰り返しによる、各単位時間で出てきた表現を使う活動はできるが、既習の表現を駆使して、仲間とのコミュニケーションを継続させるまでには至っていない。また、それを「書くこと」につなげていくことに弱さがある。間違ふことに抵抗があることが一つの理由であり、また、学んできた英語表現が「実際の生活の場面のどこで使うことができ、どういう目的で使用すればよいのか」という生徒の意識がまだ弱いからだと考える。4技能を総合的に育成できるよう目的意識をもたせたコミュニケーション活動のより一層の充実を図る必要がある。本単元では、学習指導要領「話すこと（イ）自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」を指導の中心に置き、単元のまとめとして、人の役に立つユニバーサルデザインの商品や建物について、「自分の考えを明らかにし、その根拠となる理由や場面を付け加えながら相手に分かりやすく伝え合う活動」を設定した。

（４）指導観

本単元では本文の中に出てくる表現を活用し、「人の役に立つユニバーサルデザインの商品や建物について、自分の考えを明らかにし、その根拠となる理由や場面を付け加えながら相手に分かりやすく伝え合う」、という場面を設定する。毎時間末に、いろんな事例について自分の考えを話し、話したことについて書く活動を設定し、自分の考えを伝える表現に慣れていく。このように「話すこと」を「書くこと」につなげた統合的な学習において、学習指導要領の次の事項について指導していく。

イ 話すこと

（イ）自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。

3. 研究テーマとの関わり

「部会テーマ」

**「できた・わかった」を実感しながら、コミュニケーションに挑み続ける生徒を育てる指導を求めて
～4技能における学習到達目標を明らかにとらえ、
豊かなコミュニケーション活動の中で、その到達を実感させる指導の在り方～**

本単元については、研究内容の中から以下のように重点を置いた。

（１） コミュニケーションに挑み続けようとする意欲を生み出す学習環境と課題設定

1. 間違いを恐れず、英語でコミュニケーションすることを楽しいと思える集団づくり

学習意欲を生み出すためには、生徒たちがお互いに積極的に関わり合い、学び合う集団であることが第一である。普段日本語なら話さないような話題でも、英語というツールを通して、お互いの意見を伝え合おうとすることができる。毎時間の small talk や帯活動を通して、間違いを気にせず、会話を続けようとする意欲を身に付ける。

2. 教師のモデル会話と具体的な場면을イメージした課題設定

いろんな身の回りの事例について“自分の考えに理由をつけ加えて話したい”という具体的なイメージをもたせることで、より学習意欲を高め、「書きたい」「伝えたい」と思えるようにする。しかしこの時、生徒たちの語彙力に弱さがあるため、帯活動を有効活用し、生徒が考えるであろう話したい、伝えたい表現に慣れさせていく。

（２）4技能を関連させた指導方法の工夫

1. 一人一人が表現し試行錯誤できる場の設定

「話す」「書く」の2つの表現技法を用いて、表現活動を段階的に行う。「話す」活動では、正しい英

語で話すことよりもメモをもとに、相手に自分の考えを伝えることを重視する。そして「書く」活動では、振り返りの際に、もう一度正しい文法や語彙を確認し合い、正しく表現する活動にする。「話す」活動で表現した内容を、もう一度用法・表現に気を付けて正しく「書く」ことにより、基礎基本の定着につなげることができる。

またこれからの学習でも、生徒にとって身近に感じられる場面の設定やその対話活動を行う目的をはっきりさせて活動を行っていく。そうすることで、「自分の考えを伝えたい」だけではなく、相手の意見を「聞きたい」と生徒自身が思い、会話に必然性が生まれ、より活動への意欲が高まると考える。

2. 仲間との交流の場の設定

まず、交流①では、自分と考えが同じ相手とその考えを伝え合うことにより、自分の考えに相手の考えを取り入れ、自分の考えやその理由を膨らませることができる。また、交流②では、自分と違う考えの相手と交流することにより、自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いて「なるほど、こういう考え方があるんだ」と納得したりできるようにしたい。

この時、会話で大切にすることや、交流時の評価項目を明らかにする。また、自分の力では十分に表現できなかった生徒も仲間の表現に出会うことで、より表現を豊かにすることができると考えられる。

(3) 本時の指導 (第4時)

前時までには、オリエンテーションによる出口のイメージをもち、身の回りにある事柄について、時と場合に応じた自分の予定や考えを伝える活動を行ってきた。Let's Read 1 や Unit 4 でも、I think (that)を使って自分の考えを書いてみようという活動も行ってきた。前時には、光太がシャンプーとリンスを間違えてしまい、ユニバーサルデザインの良さについて話す会話を読み取る活動を通して、自分の考えを伝える表現を学習した。

本時は、「メールと手紙とどちらがいいか」という身近な話題について、自分の考えをその理由を付け加えながら伝える活動を行う。教科書の本文から自分の考えに付け加えられる表現を見つけたり、本文の表現に限らず、既習の表現を用いて表現したりしながら、自分の考えを相手に伝え、その良さを認め広げていく。そのために交流①では、同じ意見の仲間同士、また、交流②では、異なる意見の仲間同士で伝え合い、中間評価をはさむことによってその仲間の表現の良さを評価し合う活動にする。このような活動を通して、徐々に自分の考えが少しでも長く「話せる」ようになった、話したことを「書く」ことができた、という「できた」を実感できるような授業を行いたい。

自分で英語を話すことが苦手な生徒には、つまづきに応じたの2段階のヒントカードを配布し、隣同士、学習グループ内で教え合ったりすることで全員が「できた」と言える単元の流れを展開していく。

本時は、全員が同じような文章を話すことが予想されるが、終末の活動に向けて、同じ考えの相手と交流すること、そして、違う考えの相手と交流することを通し、自分の考えやその理由内容を詳しくする表現や感想を取り入れることによって、相手に分かりやすく伝えられるように指導していく。

なお、ALT は、ペア活動に入って ALT の考えを生徒と交流する場を設けたり、より効果的な英語表現になるように生徒に指導・助言したりする。

4. 単元構想図 【全10時間】

《単元を貫く課題》

身近にあったらいいな、というユニバーサルデザインについて、時と場合、理由を付け加えながら自分の考えを相手に分かり易く伝え合おう。

《単元の指導目標》

- ・ifやwhenの表現を用いて、ある条件やどんな時に何をするかを述べることができる。I think (that)とbecauseを使って、自分の考えとその理由を述べるができる。
- ・相手に確認したり質問したりして、自分の考えや主張がより伝わるように相手に伝えることができる。

《題材への興味・関心を高め、単元全体の学習に見通しをもつ場》

【第1時】<L・S>

- ◎Unit 5の学習目標を理解し、単元を貫く課題に対しての課題意識と意欲を持つことができる。
- ◇ALTが話す日本で見つけたユニバーサルデザインの良さを聞く活動を通して、新出表現と単元の活動内容を理解し、終末に行う活動の課題意識をもつことができる。

《基礎的・基本的な知識を習得する場》

【第2時】<R・S>

- Starting Out
- ◎if構文を使って「もし～なら…」と自分の予定を伝えよう。
 - ◇教科書本文の内容理解と基本表現を正しく伝えることができる。

【第3時】<R・W>

- Dialog 1
- ◎ユニバーサルデザインの商品の良さについて自分の考えを伝えよう。
 - ◇教科書本文の内容理解と基本表現を使って正しく書くことができる。

【第5時】<R・S>

- Read & Think 1①
- ◎咲の「車いす体験」の感想を読んで、咲が感じたことを理解しよう。
 - ◇教科書本文の内容理解と基本表現を用いて正しく伝えることができる。

【第6時】<W・S>

- Read & Think 1②
- ◎咲の「車いす体験」の感想を読んで、自分の考えに付け足すことができる表現を使えるようになる。
 - ◇教科書本文の内容理解と基本表現を加えて自分の考えをより分かり易く伝えることができる。

【第4時：本時】<S・W> Dialog 2

- ◎メールと手紙、どちらが良いか自分の考えを伝えよう。
- ◇教科書本文の表現を用いて、自分の考えをその理由を加えて伝えることができる。話した内容を正しく書くことができる。

《基礎的・基本的な知識や技能を活用する場》 → 活用を通して習熟を図る場

【第7時】<R・S>

- ◎光太の発表原稿を読み取り、光太が伝えたい考えとその理由を理解しよう。
- ◇教科書本文の内容理解と基本表現を用いて自分の考えを正しく伝えることができる。

【第8時】<W・S>

- ◎より生活が便利になる商品を考えて、自分の考えやその理由について伝えよう。(英文原稿作成)
- ◇光太の発表原稿から自分の原稿に生かしたり、より詳しく説明したりする表現を見つけ、原稿を書くことができる。

【第9時】《単元の学習の発展》

- ◎Unit 5で学習してきたことを生かし、より生活を便利にするユニバーサルデザインの商品について、自分の考えを伝えよう。
- ◇自分の考えがより伝わるように、場面や理由を付け加えて相手に話すことができる。
- ◇相手への問いかけや相手の理解を確認する言葉を交えながら、分かり易く話すことができる。

《単元で付けたい力》 「話すこと」イ：自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。

《単元における評価規準》

ア コミュニケーションに対する関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化に対する知識・理解
相手に分かり易く伝えるために、相手の理解を確認したり、あいづちをうったりしながら積極的に伝え合うことができる。	ユニバーサルデザインの商品に対する自分の考えをその理由や場面などを加えて相手に分かり易く話すことができる。	主人公たちの考えやその理由などを読み取ることを通して、その内容を正しく理解することができる。	条件文if、時と場合を表すwhen、I think (that)とbecauseの意味、機能、形態を理解できる。

《本単元獲得した知識・技能を活用する「話すこと」に関する今後の学習》

- 2年生 Unit 7 Presentation3 (イ) 自分の好きな事についてその理由を含めて伝えよう。
- 3年生 Unit 5 Living with Robots (ウ) 他者の意見や感想などに対して質問や意見を述べること。

第2学年単元指導計画 【全10時間】 単元名：Unit 5 Universal Design 池田町立池田中学校 細江 美香	学 習 活 動	1 オリエンテーション①「L」 ALT が日本に来て気が付いた日本のユニバーサルデザインの良さに対する考えを聞く活動を通して、本単元の基本表現や課題をつかみ、単元終末の活動への見通しをもつことができる。	2 Starting Out「RS」 ある条件で何をするかを伝える活動を通して、if～の意味・機能・形態が分かり、「もし～だったら・・・」と自分の予定を伝える事ができる。	3 Dialog「RW」 光太がシャンプーとリンスの容器間違えた経験を通して、I think(that)の構文の意味・機能・形態を理解し、自分の考えを話すことができる。	
題材 ・ユニバーサルデザインの商品 ・「車いす体験」を通じた感想 ・日本の公共施設などの住みやすさについての主張 ・ニュースの情報、交通手段について考える		① 導入【L】 ・Oral Interactive Introduction を通じて、本単元の学習内容の概要をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">Unit 5 で学習する内容をつかみ、単元の課題を理解しよう。</div> ② 内容理解【L】 ・ALT が日本に来て気が付いた良さに対する考えとその理由、場面などを聞き取り、内容をつかむ。 ・聞き取りの視点 <input type="checkbox"/> 考えは何か。 <input type="checkbox"/> どんな時や場面で思ったのか。 <input type="checkbox"/> 考えた理由は何か。 ③ 新出文法の理解【L→S】 ・ALT の話に含まれている新出表現を理解し、それらの表現を使うと自分の考えやその理由などを伝えることができることをつかむ。(I think(that)～と because) (例) I think Japan is very clean. Because when we go into the house, we must take off our shoes. I think it's good! ④ 単元の課題の理解 ・最近何か考えた話題について交流する。 ・単元の課題をつかむ。 ⑤ 自己評価と振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・ALT の話を理解し、単元の課題をつかむことができた。</div>	① 帯活動【S】 ・単元終末の活動で活用できる表現の音読練習(英語を見ながら) ② 導入【L】 ・Oral Interactive Introduction を通じて、本時の学習内容をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">If～を使って、「もし～なら・・・」と自分の予定を伝えよう。</div> ③ 新出語句の意味・発音を確認、発音練習【S】 ④ 本文の意味・発音を確認、音読練習【R】 ⑤ 本文内容を理解してif～の意味・機能・形態の確認をする。 ⑥ if～を使って、今度の終末について雨なら、晴れならの予定を伝え合う。【W】【S】 (例) If it's sunny this weekend, I will play tennis. ⑦ If～を使い、場面に応じた自分の行動を考えてペアで伝え合う。 ⑧ 自己評価と振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・本文の内容を理解できた。 ・if～を使って週末の予定を伝えることができた。</div>	⑨ 帯活動【S】 ・単元終末の活動で活用できる表現の音読練習(英語を見ながら) ⑩ 導入【L】 ・Oral Interactive Introduction を通じて、本時の学習内容をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">本文内容を理解し、ユニバーサルデザインの商品の良さについて自分の考えを伝えよう。</div> ⑪ 新出語句の意味・発音を確認、発音練習【S】 ⑫ 本文の意味・発音を確認、音読練習(ペアで意味確認)【R】 ・I think(that)の構文の意味・機能・形態を理解する。 ⑬ 自分が難しいと思う教科について意見を書く。【W】 ⑭ 自分が考えた文をもとに、交流する。【S】 ⑮ ユニバーサルデザインの良さについて自分の考えを書く。【W】 ⑯ 自己評価と振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・本文の内容を理解できた。 ・I think (that)の使い方を理解し、「私は…と思う」と伝えることができた。</div>	
言語材料 ・If ～, I think (that) …, because, when 節		指導事項: 「話すこと」(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。	つけたい力 動作や強調などを用いて、自分の意見を簡単に伝えることができる。	単元を貫く課題 ユニバーサルデザインの商品について、条件や自分の経験、理由をふまえながら意見を伝えよう。	4 技能を効果的に関連付けた学習過程 単元の導入で終末の活動内容の見通しをもたせたり、「話した内容を書く活動」を中心に学習することを意識させたりすることで、本文を読み取る活動と、終末の「伝え合う活動」をつなげる。また、帯活動で終末の活動で使える表現を反復練習することで、無理なく身に付けられるようにする。 本文の読み取りでは、教科書で使われている表現の良さに気付かせ、終末の活動に生かすことができるようにする。
活用させたい既習内容 ・Show and Tell (2年生 Unit1 Unit 2) ・can, must, should, を使った文(1年生 Unit10 2年生 Unit 4)		基礎学力定着のための支援 帯活動では、自分の力で読めない生徒について支援する。本文の読み取りでは、本文の中でキーワードとなっている言葉に注目させ、読み取ることができるようにする。単位時間の対話活動で話したことを書く活動を位置付け、基礎基本の定着の見届けと、習熟度を評価する。また、単元終末の活動につながる活動を多く仕組むことで、話す力や書く力を段階的に伸ばしていく。	終末の活動や単元の課題を理解することができる。 (観察、ワークシート)	本文の内容を理解することができた。if～の意味・機能・形態を理解し、それを使って表現することができる。 (観察、ワークシート)	本文の内容を理解することができた。I think (that)を使って、自分の考えを話すことができる。(観察、ワークシート)

本時

時	4 Dialog 「WS」	5 Read and Think① 「RS」	6 Read and Think①-2 「WS」	7 Read and Think② 「RS」	8 Read and Think ②-2 「WS」
ねらい	身の回りのことについて、自分の考えとその理由を伝え合う活動を通して、I think (that) と because の用法を理解し正しく表現することができる。	「車いす体験」読み取る活動を通して、体験を通して感じたことについて理解することができる。	普段の生活の中で、どんな時に何をするか伝え、その感想も含めながら発表することができる。	ユニバーサルデザインについて書かれた英文を読み取る活動を通して、話者の主張とその理由を理解することができる。	いろいろなユニバーサルデザインについて調べ、自分の考えとその理由を伝えることができる。単元終末の活動で使える表現を見つけ、自分の意見に取り入れることができる。
学習活動	<p>① 帯活動【S】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元終末の活動で活用できる表現の音読練習（日本語を見ながら） <p>② 導入【L】</p> <p>Oral Interactive Introductionを通して本時の学習内容をつかむ。</p> <p>「メールと手紙どちらがいいか」について自分の考えとその理由を伝え合おう。</p> <p>③ 自分が考えたメモをもとに、同じ意見同士交流する。【S】</p> <p>④ 仲間の表現を評価し、自分の表現に付け足す。【W】</p> <p>⑤ 異なる意見同士交流する。【S】</p> <p>⑥ 異なる考えの良さを評価し、表現を自分の考えに生かす。【W】</p> <p>⑦ 全体交流をする。</p> <p>⑧ 自分の考えを話したことを正しく書く。【W】</p> <p>⑨ 自己評価と振り返り</p> <p>・自分の考えとその理由を伝え合うことによって、I think(that), because を正しく使うことができた。</p> <p>・同じ意見、異なる意見を聞いて、自分の考えに生かせることができた。</p>	<p>① 帯活動【S】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元終末の活動で活用できる表現の音読練習（日本語を見ながら） <p>② 導入【L】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Oral Interactive Introductionを通して、本時の学習内容をつかむ。 <p>咲の「車いす体験」の感想文を読んで、体験を通して感じたことについて理解しよう。</p> <p>③ 新出語句の意味・発音を確認、発音練習【S】</p> <p>④ 本文の内容理解【R】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取りの視点 □車いすに初めて座った時どうだったか。 □「車いす」で大変だったこと。 □咲が学んだことは何か。 <p>⑤ 本文の内容理解、音読【R】</p> <p>⑥ 車いすでの生活など、誰もが住みやすい社会について考えた事を書く。【W】</p> <p>⑦ 自分が考えた事を交流する。【S】</p> <p>⑧ 自己評価と振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解できた。 ・考えたことや学んだことの表現を見つけ、理解することができた。 	<p>① 帯活動【S】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元終末の活動で活用できる表現の音読練習（日本語を見ながら） <p>② 導入【L】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Oral Interactive Introductionを通して、本時の学習内容をつかむ。 <p>咲の体験談から自分の意見に付け足せる表現を見つけ、考えを深めよう。</p> <p>③ 本文の内容理解、音読【R】</p> <p>④ 咲の体験の感想文で終末の活動で使える表現を探し、私たちが生活する上で困ったりする場面について考える。（自分の考えに表現を付け足す。）</p> <p>⑤ 自分が考えた文をもとに、交流する。【S】</p> <p>④ 自分が話したことをワークシートに記入する。【W】</p> <p>⑤ 自己評価と振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解できた。 ・咲の感想文から自分の考えに付け足せる表現を見つけ、取り入れ、話すことができた。 	<p>① 帯活動【S】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元終末の活動で活用できる表現の音読練習（日本語を見ながら） <p>② 導入【L】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Oral Interactive Introductionを通して、本時の学習内容をつかむ。 <p>ユニバーサルデザインについての発表原稿を読んで、光太の伝えたい考えとその理由を理解しよう。</p> <p>③ 新出語句の意味・発音を確認、発音練習【S】</p> <p>④ 本文の内容理解【R】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取りの視点 □光太が見つけたユニバーサルデザインの商品は何だったか。 □良い点は何だろう。 □光太が伝えたいこととその理由は何か。 <p>⑤ 本文の内容理解、音読【R】</p> <p>⑥ 公共の場所など、誰もが住みやすい社会について考えた事とその理由を書く。【W】</p> <p>⑦ 自分が考えた事を交流する。【S】</p> <p>⑧ 自己評価と振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解できた。 ・考えたことや学んだことの表現を見つけ、理解することができた。 	<p>① 帯活動【S】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元終末の活動で活用できる表現の音読練習（日本語を見ながら） <p>② 導入【L】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Oral Interactive Introductionを通して、本時の学習内容をつかむ。 <p>より生活が便利になる商品を考えて、自分の考えやその理由について伝えよう。（原稿作成）</p> <p>③ 光太の発表原稿から自分の考えに付け足したり、より詳しく説明したりする表現を見つけ原稿を書く。【W】</p> <p>I'm going to tell you about universal design products. Look at this. This is a vending machine. I think it is very useful for everyone. Because we can put money here and take a bottle easily. When small children and old people buy drinks, they feel happy. I think it's great.</p> <p>④ 話す練習をする。【S】</p> <p>⑤ 自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが相手により伝わるように、場面や理由を付け加えて書くことができた。
評価規準	身の回りのことについて、自分の考えとその理由を伝え合う活動を通して、I think (that) と because の用法を理解し正しく表現することができる。（活動の観察、ワークシート）	本文の内容を理解することができる。接続詞 when の形・意味・用法に関する知識を身につけることができる。（観察、ワークシート）	本文の内容を理解することができる。本文に使われている表現から自分の考えに活用できる表現を見つけ、付け足して話すことができる。（観察、ワークシート）	本文の内容を理解することができる。接続詞 because の形・意味・用法に関する知識を身につけることができる。（観察、ワークシート）	既習表現を使い、自分が便利だと思う商品について、場面やその理由を加えて書くことができる。（観察、ワークシート）

時	9 終末の活動③「SL」	10 Activity①「L」②「S」
ねらい	より生活が便利になるユニバーサルデザインの商品について伝える活動を通して、自分の考えを、理由や場面などを加えながら分かりやすく相手に話すことができる。	ニュースを聞く活動を通して、必要な情報を聞き取ることができる。交通手段について自分の意見とその理由を言ったり、書いたりすることができる。
学習活動	<p>①導入【L】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Oral Interactive Introductionを通して、本時の学習内容をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">より生活を便利にする商品について、自分の考えを、その良さの理由や場面を付け加えながら伝えよう。</div> <p>②個人練習に取り組み最終確認をする。【S】</p> <p>③一人ずつクラスの前で発表する。【S】</p> <p>④ALT から上手に紹介していた生徒や紹介を聞いた感想などを聞く。【L】</p> <p>⑤自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーをしたり、写真や絵を見せながら声の大きさなどに気をつけたりして相手に分かりやすく伝えることができた。 ・自分が考えたより生活を便利にする商品について、それを使う場面や良さの理由を加えながら自分の考えを伝えることができた。 	<p>① 帯活動【S】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の発表原稿をペアで交流する。 <p>② 導入【L】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Oral Interactive Introductionを通して、本時の学習内容をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">身近な話題について正確な情報を聞きとったり、自分の意見とその理由をのべたりしよう。</div> <p>③ ニュースを聞き取る。【L】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りの前に、未習単語について意味と発音を確認する。 ・ペアで答えを確認する。 ・CDを再度聞き、答えを確認する。 <p>④ 対話を聞き、ポイントを聞き取る。【L】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで答えを確認する。 ・CDを再度聞き、答えを確認する。 <p>⑥ 電車か自家用車かどちらがいいか、良い点と悪い点を言い合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで確認しあう。 <p>⑦ Tool Box の表現を確認し、例にならって自分の意見をまとめる。【W】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで意見交流する。 <p>⑦自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題を聞いて、必要な情報を聞き逃さずに聞き取ったり、自分の考えとその理由を伝えたりすることができた。
評価規準	自分が書いた発表原稿を用いて、ジェスチャーをしたり、声の大きさなどに気をつけたりしながら、相手に分かり易く自分の考えを伝えることができる。 (観察)	身近な話題を聞いて、必要な情報を聞き取ったり、自分の考えとその理由を伝えたりすることができる。 (観察、ワークシート)

4. 本時のねらい（本時の位置 4 / 10）

身近な話題について、自分の考えとその理由を伝え合う活動を通して、I think (that)、because の用法を理解し理由を付け加えながら正しく表現することができる。

5. 本時の展開

	学習活動	指導・援助
つかむ	<p>1. 帯活動 (Speed Input) を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出文法や終末の活動に生かす表現や活動を A ペア、B ペアで行う。 <p>2. モデル対話を聞く 教師の対話を聞き、本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点①ALT と JET の会話内容をつかむ。 ・視点②ALT の考えとその理由から今日の課題は何かを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に活動ができていない生徒を褒めながら、英語を苦手とするペアには JTE と ALT それぞれ分かれて支援する。
考える	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ALT : Hi Mika, How are you today? JET : I'm good, thank you. And you? ALT : I'm so happy today. JET : Yes, you look so happy. Why? ALT : Because I got a letter from my mom yesterday! Look! I think letters are good for me, because letters are special. JET : I agree with you. A letter is so good! But we use an e-mail a lot. I think an e-mails are also good. ALT : Yes. Umm...Ok, students. Which is good for you, an e-mail or a letter?</p> </div> <p>3. 本時の課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「メールと手紙のどちらがいいか」について、自分の考えとその理由を伝えあおう</p> </div> <p>4. 新出表現を復習する</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ I think ~. 自分の考えを述べる ・ Because ~, 理由を話す ・ if ~, 状況を仮定する ・ I agree with you. ・ I think so, too. / I don't think so. </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ For example, ... 例をあげて説明する ・ I (we) can ~. できること ・ So だから ・ But しかし </div> </div>	<p>【前時までの表現の復習をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいに関わる表現を強調したり、使える表現について復習したりして、課題にむすびつけることができるようにする。 ・ JET と ALT が話題にした手紙について内容に興味を持たせ、本時の課題を理解できるようにする。 ・ I think (that) ...、Because の用法を全体で確認する。 I think (that) a dog is good for me, because a dog is cute and I can enjoy waling with it. <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価基準を確認する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の意見が伝えられたか 2. 理由が2つ以上話せたか 3. 一言返せたか ・ S-S での活動時間を利用して、理解が不十分な生徒には支援を行う。 ・ 英語を苦手とする生徒には、つまづきにちじた 2 種類の Help Sheet を渡す。自分で I think (that)の文を話し始められていることを褒め、価値づける。
深める	<p>5. 「メールと手紙のどちらがいいか」について決められた方について、自分の考えとその理由を考えてメモをする。</p> <p>6. 「メールと手紙のどちらがいいか」について、自分の考えとその理由を相手に正しく伝える。</p> <p><個人練習>…個人で練習する。</p> <p><交流①>…メモを見ながら同じ意見同士で4～5ペア対話する。 相手から聞いたことをメモする。</p> <p><中間評価> I think(that)と because を正しく使い、自分の考えとその理由を相手に伝えている仲間を価値付ける。2つ以上の理由を伝えている◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表現を付け加えて個人練習する。 <p><交流②>…中間評価を受けて、違う意見同士で4～5ペア対話する。 仲間の考えについてそれぞれ聞いたことをメモする。 相手の意見に納得できた◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流①では、同じ考えの相手と対話し、相手の理由や考えを受け、自分の考えに生かすことができたことを価値づける。 ・ 中間評価では、I think (that)と Because などの表現を使って自分の考えとその理由を伝えている生徒を ALT が指名し全体に広めて価値づける。 ・ 交流②では、違う考えの相手とペア交流をすることで、新しい考えや理由を見つけられ、納得し合えるようにする。
まとめる	<p>7. 本時、いろんな意見を聞いたうえで、最後に考えた自分の意見とその理由について話した内容を書きまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(考え) I think that a letter is good for me, (理由①)because old people and small children can write letters easily. (理由②) A letter is warm for everyone. I like letters.</p> </div> <p>8. 本時の活動の中で表現の良さについてよかった仲間の名前を書きその良さを交流する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇評価規準：話すこと (イ) 身近な話題について自分の考えとその理由を伝え合う活動を通して、I think (that)と because を正しく使うことができる。 (評価の方法) 交流の観察</p> </div>